

●トレーニング計画表

赤文字は当日オーガナイズ終了時の反省、気づき

テーマ	年月日 2010/11/21
キャッチング2 キーパーズバトル	オーガナイザー AGK

オーガナイズ

32m

12m

4m

12m

準備

エリア：26m×32m ゴールエリア・ペナルティマーク・中央ゾーン
※トレーニングエリアの広さは選手の状態をみて判断する

ゴール
ボール 人数分個

ルール

- ・オフェンスは中央ゾーン間にボールをプレースしてシュート。
- ・オフェンスチームは他オフェンス1名を、GKチームは他ディフェンス1名をゴールエリア横に配置できる。
- ・GKはシュートストップ。
- ・GKがシュートをはじた場合、ゲームに関わった4名によって継続プレー。ボールがアウトになるか、ゴールになれば終わり。
- ・勝敗はチーム得点を競う
「チーム得点」＝「キャッチング数」－「失点数」とする

指導上の留意点/キーファクター

- ①一回でつかむキャッチング
- ②弾くなら遠くワイドに
- ③2ndボールへのアクション
声、プレー
- ④いつでも、どこにでも動き出せ姿勢

●オーガナイズ上の注意

- ①キャッチングが攻撃を断つために有効である事を理解できるように導く。
- ②安全確実なキャッチングを行うためには、シュートコースにカラダの正面を運ぶことが重要になるので、ステッピングがポイントになるが、ステッピングを強く求めるのではなく、カラダの正面でキャッチを行う大切さを伝える。
キャッチングを成功させるために、基本姿勢、ステッピングを試行錯誤させるように導く。

◆待機しているGKがプレーに集中してしまうあまり、エリア内に侵入する場合はあったので待機場所を一考する。

◆バトル要素が強いため、キャッチングへのコーチングを行うタイミングが難しい。
GK達の勝負に対して集中力が上がっている時に、プレーを止めてコーチングを行うべきではないと思った。
「ナイスキーパー！でも、今のキャッチング方法は○○○できればもっとよかった！」などのポジティブな言葉をバトルにシンクロしながら発したかったが、「ナイスキーパー！」で終わってしまった。
GK達の勝負にこだわる姿勢を前にコーチングできなかった。自分の未熟。

◆優勝者は「キャッチング」「キック」共、優れたGKが揃うチームになった。
優れたGKは手だけでなく、足もとの技術も優れていることを讃えてオーガナイズを終了した。
「GKは両手を使える優れたフットボーラー」という哲学が伝わっただろうか？